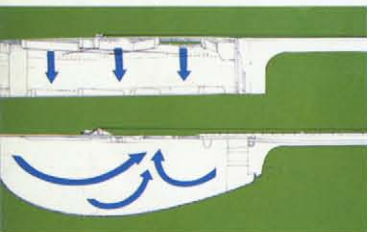


# いい音、弾こう。ギタリスト必見の、オベーション・テクニク。

## ●Lyrachord® Roundback Guitar

1966年、航空技術者であり優れたギタープレイヤーでもあったチャールズ・カーマンによって、このまったく新しい形状と構造のボディを持つ画期的なギター、オベーションは生まれました。マテリアルは軽く、しかも強度のあるファイバーグラス「リラコード」(特許)で成形。階円形を帯びたボウル型の「ラウンドバック」(特許)と相まって、透明感のあるストレートな響きを実現しています。ボディ内での音の自閉、吸収などの諸問題を一気に解消。弦で弾き出された生音を第一に考えた設計です。ジェニアスのサウンドホール下には、限定品として、格調高いゴールド仕上げのオリジナル・モデルラベルを貼付しました。



## ●Deep Bowl and Shallow Bowl

ジェニアスのラウンドバック形状には、ディープボウルとシャローボウルの2種類があります。ディープボウルは胴の厚みが155mm。アコースティックギターのあらゆる要素を備え、すべての音域にわたって深くしみ込むようなサウンドが特徴です。シャローボウルの胴厚は130mm。華やかな高音、頼もしい中音はリードプレイヤーの要求に大きく応え、スタジオレコーディングにも最適です。



## ●Piezoelectric Pickups System

ラウンドバック・ボディによって生まれた理想的な生音を電氣的に処理する際、その特性を損なうことなく再生するためにオベーションが独自に開発したのが、ピエゾエレクトリック・ピックアップ・システム。ギターの中で最初に音をつくる発振体となるサドル下部に配した6つの電極が、弦1本ずつの振動を拾うと同時に、全体でも表甲の暖かい味のある音を捕えます。そして、信号となったサウンドは2つのフィルターを採用したFETプリアンプで純粋に効率よくアンプリファイ。不必要なノイズをカットし、クリアなハイトーン、メロなミドルレンジ、深みのあるベーストーンをもったアコースティック・エレクトリック・サウンドを創りだしています。



Piezoelectric Pickups



FET Preamplifier

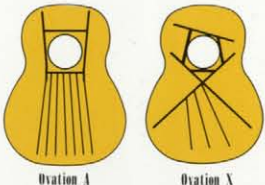
## ●Control Knob

ボディサイドに2重のコントロールノブを装備。外側がトーン、内側がボリュームです。トーンは、低音域の豊かな音から高音域の明るい音色まで、幅広い調整が可能です。また、ボリュームはフルでも歪みは全くなくクリアなもの。好みのサウンド・エクスプレッションが得られます。ジェニアスのコントロールノブはウッド仕上げ。一段とシックな雰囲気にとまっています。



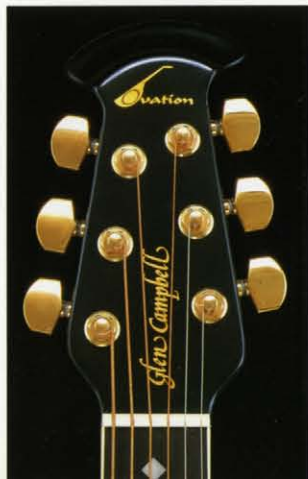
## ●Top Bracing Pattern

ジェニアスシリーズは、2つのブレイシング・パターン(力木の配列)を採用しています。ギターにおける音の振動を究明し尽くした結果生まれた、オベーション独自のテクニクです。Aブレイシングはオベーションギターの中でも代表格。表甲が最大の振動を得るように、テーパーをつけて削られています。音域全体にわたって平均的な力強さが特徴。厚みのある低音、頼もしい中音、良く伸びた高音には定評があります。そして、パラティアーA1611GはXブレイシング。暖かく柔らかな低音は、独奏楽器としても伴奏楽器としても十分に魅力的です。



Ovation A

Ovation X



# 腕の中の音楽都市。ジェニアスへ、ようこそ。

1984年、秋。

オベーションのエレクトリック・ラウンドバックギターに新シリーズが仲間入り。

その名も、ジェニアス。

弾く者と聴く者の素敵なコミュニケーションのために、サウンドは今ここに音楽都市となる。

都市のセンスとパワーを秘めて、

5つの美しきヨーロッパ・スタイルが

陶酔のパフォーマンスを解き放つ。

ギター人よ、

腕の中へ、ジェニアスという楽園を招き入れてみませんか。

